

令和2年度
学校自己点検・自己評価

学校法人エイシンカレッジ
クリアヘアモード専門学校

令和3年3月26日実施

項目別の自己評価表

1. 学校の教育目標

(1) 建学の精神 ・ 教育理念

美容師に必要な知識・技術及び心構えを修得させ、美容師の質の向上に資すること、公衆衛生の向上及び増進に寄与する優れた人材育成を行う。

(2) 教育方針

- ・美容師国家試験全員合格、ほか各種美容分野の資格取得を目標とする。
- ・ヘア、メイク、ネイル、エステ、着付けなど総合美容技術の基礎技術を習得する。
- ・挨拶、返事、笑顔、気配り、言葉づかいなどの礼節、コミュニケーションスキルを習得する。
- ・各種美容コンテストへ参加し、技術力と精神力を養う。

(3) 令和2年度の主な目標や計画

(1) 美容実習授業内容の強化

- ・1年次からシャンプー、カラーリング、ブローの実践的な授業を導入する。
- ・2年次サロンスタジオ実習を月1回実施することを目標とする。

(2) 学生募集の取り組み

- ・遠方の高校訪問を徹底し、バス動員数増加を図る。
- ・長岡市内、長岡市近郊の高校からの入学生増加を図る。

評価項目の達成状況及び取組状況

		適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1				
(1) 教育理念・目標		4	3	2	1	
評価項目	①	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門学校の特徴が明確になっているか)	④	3	2	1
	②	学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	④	3	2	1
	③	社会的ニーズの求めに応じた人材育成の方針が定められているか	④	3	2	1
	④	学校の理念、目的・人材育成像を学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1
	⑤	学外に対して学校の理念等を周知しているか	4	③	2	1

①現状

	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念に基づき、基本的な美容技術・知識の習得がなされている。 ・美容業界の現状情報を全職員が共有し、現場に必要な資格取得を推進している。 ・1年生ワインディングコンテストには保護者の参観を募っている。 ・全国規模の美容コンテストに参加希望学生が複数いたが、コロナの影響で中止となった。 ・学校新聞「クレアタイムズ」を7月と12月の年2回発行。全保護者へ送付し、学校行事、授業の感想、資格取得情報、就職状況等を保護者に発信している。 	
--	---	--

②課題及び改善方法

	<ul style="list-style-type: none"> ・全学生が教育理念を見失わず、学業に専念できる環境をつくる。 ・ボランティア活動を通して学校理念、クレアの教育活動を学外に対して周知する。 ・オンラインコンテスト、フォトコンテストへの参加希望者を募り、希望者がいれば指導にあたり、入賞を目指す。 	
--	--	--

③特記事項

	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	
--	---	--

		適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1			
(2) 学校運営		4	3	2	1
評価項目	① 目的等に沿った運営方針が策定されている	④	3	2	1
	② 運営方針に沿った事業計画が策定されている	④	3	2	1
	③ 運営会議(学校運営会議・学科運営会議)が定期的に行われている	④	3	2	1
	④ 組織の構成員のそれぞれの職務分掌が明確になっている	4	③	2	1
	⑤ 人事・給与に関する規定等が整備されている	④	3	2	1
	⑥ 職員の健康診断がなされている	④	3	2	1
	⑦ 情報化によって業務の効率化がなされている	④	3	2	1
	⑧ 教育活動に関する情報公開が適切になされている	④	3	2	1

①現状

<ul style="list-style-type: none"> ・毎週1回、全職員の週礼会議、毎月2回、教務会議を開き、入学募集状況、学校行事の振り返り、学生在籍状況、就職状況等の報告や検討事案を協議して情報共有がなされている。 ・人事及び給与は法人の定める就業規則が規定されており、適切に管理されている。 	
--	--

②課題及び改善方法

<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき、美容業界の流行を取り入れた授業を展開する。 ・ICTに関して姉妹校と情報を共有し、活用できるツールは積極的に取り入れる。 	
---	--

③特記事項

<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の最重要項目であり、今後も高い目標を設定し、取り組んでいく。 ・日本全国と新潟県内のコロナウイルス感染状況を把握し、学生、教職員の予防対策を徹底する。 	
---	--

		適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1				
(3) 教育活動		4	3	2	1	
評価項目	①	カリキュラム・シラバスの作成がなされているか	④	3	2	1
	②	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
	③	学生アンケートを定期的実施し、授業評価を行っているか	④	3	2	1
	④	職業教育のために外部でのインターンシップが行われているか	④	3	2	1
	⑤	コミュニケーション能力を向上させる取り組みを行っているか	④	3	2	1
	⑥	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1
	⑦	施設・行政等の連携を図っているか	④	3	2	1

①現状

- ・各課目で到達目標を設定しており、随時習得レベルをチェックし、授業進度をまとめている。
- ・2年次夏休み期間に「実務実習」として学生の希望する美容室で60時間の実習を実施している。
- ・入学時の1、2年合同アイスブレイクや外部業者を招き、礼節やコミュニケーションセミナーを行っている。

②課題及び改善方法

- ・行事終了後、アンケートを実施し学生の満足度や次年度への課題や懸念事項を確認している。
- ・年2回(4月・7月)に教員全員で美容師実技国家試験課題の技術統一を行っているが学生の理解度や到達目標レベルを共有するため実施回数を増やしたい。
- ・コロナ感染拡大の影響により、地域の各種イベントが中止になったためコミュニケーションを図る機会が減る可能性があるが、オンラインイベント等の開催があれば積極的に参加したい。
- ・今後、コロナ感染拡大した場合の休校措置や、県外の講師による授業が行えない事態に備え、オンライン授業を実施できる環境整備を進める。

③特記事項

特になし

		適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1			
(4) 学修成果		4	3	2	1
評価項目	① 学生の就職に向けての意識付けが図られているか	④	3	2	1
	② 就職活動の記録・報告がなされているか	④	3	2	1
	③ 退学を抑止する働きかけが適切になされているか	4	③	2	1
	④ 退学結果の記録・報告が適切に行われているか	④	3	2	1
	⑤ 卒業生の進路・就職先の把握がなされているか	4	③	2	1
	⑥ 卒業生の就職先での評価を把握する取り組みを実施しているか	4	③	2	1

①現状

- ・就職後のミスマッチを防ぐために1年次1月から就職に対する意識付けのセミナーを業者に依頼している。進級後の3月から就職ガイダンスを受け、自分の就職したいサロンに見学に出向く指導をしている。
- ・就職率、資格取得率を学校全体で共有している。

②課題及び改善方法

- ・退学者ゼロを目指し学生指導を行っているが、定期的な面談を行い、学生の悩みを聞き出すことが必要である。
- ・卒業後、内定先に勤務して1年以内に離職している卒業生が複数いるが、本人からではなく他の卒業生からの情報で知ることが多い。違う美容室にすぐに勤める者が多いが、美容業界を退職し他分野に転職している者もいる。

③特記事項

- ・開校以来13年連続で、専門分野求職者の在学中内定率は100%となっている。

		適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1			
(5) 学生支援		4	3	2	1
評価項目	① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
	② キャリアサポートの担当者を配備して支援を行っているか	④	3	2	1
	③ 学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
	④ 学生に対する経済的支援体制は整備されているか	④	3	2	1
	⑤ 学生の健康管理を担う体制はあるか	④	3	2	1
	⑥ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
	⑦ 学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
	⑧ 保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
	⑨ 卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1

①現状

・就職ガイダンス、実務実習を実施し、就職を希望する希望店舗に内定を得ることを目標とし、卒業前には全員が内定する。

・学費の減免制度、分納、各種奨学金制度、修学支援制度の整備がなされている。

・遠方居住の学生に対し、学生寮および学生アパートを完備している。

②課題及び改善方法

・学生の健康管理、生活環境の問題について、年1回の面談だけでは把握できない事項もあるため、生活態度に変化が見られたら速やかに面談を実施し、内容により保護者と連携して対応する。

・卒業生への支援体制として、学校評価委員の協力を得て中途採用募集の情報等、告知できる体制をつくりたい。

③特記事項

・特になし

		適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1				
(6) 教育環境		4	3	2	1	
評価項目	①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
	②	学校施設、備品等が定期的に保守・点検が行われているか	④	3	2	1
	③	学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
	④	災害、事故発生時に校内の緊急体制は十分に整備されているか	④	3	2	1

①現状

<ul style="list-style-type: none"> ・1階サロンスタジオをはじめ、美容業界の実践的な技術を習得できる設備がある。 ・定期的に校内点検を実施し、不具合のある場合は速やかに改修している。 ・年1回、消防設備点検を実施し、防火管理者、職員が安全対策、緊急時の連絡系統を共有している。 ・毎年、学生全員に対し春に避難場所の確認、秋に避難訓練を実施している。 	
---	--

②課題及び改善方法

<p>特になし</p>	
-------------	--

③特記事項

<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年4月1日より校舎及び敷地内を完全禁煙化。 	
---	--

		適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1			
(7) 学生の受け入れ募集		4	3	2	1
評価項目	① 学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
	② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
	③ 学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1
	④ 入学予定者に対して学習支援を実施しているか	④	3	2	1

①現状

<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念、教育内容、学校の特色をまとめ、学生募集用パンフレットを作成して。 ・少人数制、2年次コース選択制、資格取得率を進路ガイダンスやオープンキャンパスで伝えている。 ・学費について、国家試験合格に到達できる教材の質、量を教員間で毎年精査し、追加購入が不要となるように設定している。 ・学費の分納対応、奨学金制度の整備がなされている。
--

②課題及び改善方法

<ul style="list-style-type: none"> ・美容分野を志望する高校生に対し、業種選択のメリットを訴求するため、業界の労務状況をリサーチすることが必要となる。(初任給、昇給制度、休日、社会保険等)
--

③特記事項

<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年7月、文部科学省修学支援制度申請 令和元年9月、認可

		適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1			
(8)財務		4	3	2	1
評価項目	① 中長期的に学校の財務基盤が安定しているといえるか	④	3	2	1
	② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
	③ 財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
	④ 財務情報公開の体制整備ができているか	④	3	2	1

①現状

<ul style="list-style-type: none"> ・公認会計士による監査が行われており財務基盤は妥当である。 ・年度予算、事業計画に沿って、業務遂行されている。 ・財務情報は教育内容とともにホームページに公開している。 	
--	--

②課題及び改善方法

<p>特になし</p>	
-------------	--

③特記事項

<p>特になし</p>	
-------------	--

		適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1			
(9) 法令等の遵守		4	3	2	1
評価項目	① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
	② 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
	③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
	④ 自己点検・評価報告書を公開しているか	④	3	2	1

①現状

	<ul style="list-style-type: none"> ・法令遵守については規程に沿って、情報収集や学内全体の業務の適法性管理などを行っている。 ・個人情報の取り扱い等の管理を行うとともに、個々の職員や学生からの人権相談については、プライバシー保護に配慮し該当する職員が適切に対応している。 	
--	--	--

②課題及び改善方法

	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報デジタルデータのセキュリティ強化、管理マニュアル体制構築を検討する。 	
--	---	--

③特記事項

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度より学校自己点検、学校関係者評価をホームページ上に情報公開。 	
--	--	--

			適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1			
(10) 社会貢献・地域貢献			4	3	2	1
評価項目	①	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
	②	学生のボランティア活動を奨励、支援を行っているか	④	3	2	1
	③	教育資源(施設・設備の開放・教職員の出張講座等)を地域社会に提供しているか	4	③	2	1

①現状

・今年度はコロナ感染拡大の影響で中止となったが、長岡市近隣施設等で開催される美容団体イベントやハロウィン、クリスマスのフェイスペイントのボランティア活動を通して業界の先輩や子供とのふれあいの中でコミュニケーション能力を身に付けている。

②課題及び改善方法

・美容師養成施設関連法に従い、ボランティアや社会貢献を展開できるよう施設活用を含めて検討する。
・学校周辺の美化運動を計画し、積極的に取り組む。

③特記事項

・令和2年10月10日、11日 音楽イベント米百俵フェスにボディペイントブースに参加。